

令和2年度 卒業式（定時制） 校長式辞 （一部抜粋）

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんが4年前、古知野高校定時制に入学した事情は様々であったと思います。しかし、今日こうして卒業式を迎えられたのは、13名全員が「高校を卒業したい。」という強い覚悟と家族や友人などの支えがあったからではないでしょうか。

私は、始業式・終業式の式辞で、水泳の池江璃花子選手のことを何度か紹介してきました。その内容は、池江選手が2年前の2019年2月、白血病であることを公表し、ツイッターで「私は、神様は乗り越えられない試練は与えない。自分に乗り越えられない壁はないと思っています。必ず戻ってきます。」とコメントしたこと。その後、約10か月の入院、抗がん剤治療で吐き気が強いときは「大丈夫、大丈夫、いつか終わる。」と自分を励まし続けたことなどです。池江選手は現在20歳となり、最近出場した大会の50mパラフライで優勝、4月に開催予定の日本選手権に出場できるまで回復しました。そして、2024年のパリオリンピック出場、メダル獲得という目標を掲げ、医師と相談しながらトレーニングに励んでいます。

現在、世界中の人々を苦しめている新型コロナウイルス、池江選手が克服しようとしている白血病など、私たちの前には、必ずと言ってよいほど、困難が立ちまわります。そんなとき私は、「**困難は乗り越えられる、強い覚悟と支えがあれば！**」という言葉で心の支えとしています。「**困難は乗り越えられる、強い覚悟と支えがあれば！**」 自分自身の強い気持ちと周りにいる人たちのサポートがあれば、大丈夫です。何とかあります。実際に、ここにいる卒業生諸君が、そのことを証明してくれました。

それでは、これから卒業生の皆さん、一人ひとりに定時制職員からのメッセージを送ります。

- (A) 穏やかで控え目な性格でしたが、どんなことでも真剣に向き合って頑張ることができました。また、頼み事があれば快く引き受けてくれました。
- (B) 明るい性格で、誰とでも分け隔てなく接してクラスを盛り上げてくれました。野球部に所属し、バッティングに磨きをかけて中心打者として活躍しました。
- (C) 4年生で室長を務めるなど、様々な場面でリーダーシップを発揮してくれました。学級の中心的役割を担い活躍してくれました。
- (D) 礼儀正しく挨拶をする姿が印象的でした。野球部に所属して、毎日練習に励むことで、外野手として中心選手になるまでに成長できました。
- (E) しっかりと自己を見つめ、目標に向かって前向きに努力をすることで、自分自身の進路をつかみ取ることができました。
- (F) 何事にも真面目に取り組むことができました。バドミントン部に所属して、部活動と学習の両面でしっかりと頑張ることができました。
- (G) 自分自身の進路を実現するために、面接練習などをコツコツと真面目に取り組み、人一倍頑張ることができました。
- (H) 自分の考えを素直に表現することができました。ユーモアのある性格で、周りの友だちを笑顔にしてくれました。
- (I) 雨にも風にも雪にも負けず、自転車で登校し続けることができました。何事にも淡々と取り組み、学習面で努力することができました。
- (J) 入学時は日本語もおぼつかない状態でしたが、他の生徒よりも早く学校に登校し、努力を重ねることで日本語の能力を向上させることができました。
- (K) コツコツと努力を重ねて、卒業に向けて学習を続けることができました。日々の積み重ねで、日本語も十分に使えるようになりました。
- (L) バドミントン部と野球部に所属して、大いに活躍しました。4年生では、野球部のキャプテンそしてエースピッチャーとしてチームを牽引してくれました。また、生徒会会長を務めるなど、様々な面で模範となる存在でした。
- (M) 陸上競技部で日々努力をし、2年生のときには全国大会で優秀な成績を収めることができました。苦手なことにも向き合い、しっかりと成長できました。

以上、13名へのメッセージでした。 それでは、最後に…

“ I c a n d o i t ! Y o u c a n d o i t ! ”

新しい旅立ちの日にあたり、皆さんの明日が、未来が、幸多くありますことを願い、式辞とします。

令和3年3月1日

愛知県立古知野高等学校長 川合 貴也